

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 **最終**)

広南中学校区 校番 2 学校名 呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	学校教育目標に沿ってよく考えられているが、数値的な目標を高く設定し過ぎている項目があるのではないかな。
目標達成のための方策の適切さ	A	進捗状況を分析しながら、適切に考えられている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	「はなしたいわ」シートで発表の仕方を具体的に示しているのがよい。小学校での学びが中学校での取組の土台となり、児童生徒の成長に繋がっている。先生方が厳しく優しく一生懸命で、校風がとてもよい。
今後の改善策(案)の適切さ	A	適切な内容である。達成目標に数値を活用することは大切だが、数値に振り回されないように、児童生徒の実際の姿がどうか、先生がやりがいを感じられているか等を大切にしてほしい。
その他		小中の学園としての取組や行事が素晴らしく、感謝している。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・「はなしたいわ」シートをしっかりと活用しながら、全ての教育活動を通して「主体的に考え議論する」力を育成する。 ・課題発見や課題解決の学習過程を丁寧に行うことで、未来を創る「志(こころの力)」と「力(かなえる力)」を育成する。 ・生徒会活動及び総合的な学習の時間の内容や取組の方法について、年間の活動を見通しながら考え直す。それにより、より効果的かつ効率的に、取組や行事を実施できるようにする。
--------------------	---